



この判読図は災害直後の7月22日午前撮影された空中写真を利用して土砂移動のあった範囲を判読したものです。破線内の範囲は垂直写真によって確認できる範囲で、それ以外の範囲については未確認です。速報性を優先しているため、位置精度等については一部不正確なものが含まれている可能性があります。予めご了承ください。

流路狭窄部に土砂が厚く堆積。

えん堤工により土砂の一部を捕捉。下流へも大量に流下。

合流部でダムアップして一部旧流路を流下。

天井川状の水路まで土砂が到達。

流路屈曲部下流で土砂が氾濫。

団地内まで崩壊土砂が流入。

えん堤工により大量の土石流を捕捉。一部は下流側へ流下。

水路下流側が閉塞され、水溜まりが出現。

特別養護老人ホーム「ライフケア高砂」の建物中央部に流入

土石流により人家数軒が押し流されている。

この付近にえん堤の堤体は確認できない。

土石流により人家数軒が押し流されている。

えん堤工より下流で合流する支浜で崩壊が多発している。

上下流で落差が大きく、滝状になっている。

現況流路は土砂が堆積してダムアップしたため、流水は林道沿いを流れている。

ため池により大量の土石流を捕捉。

閉塞部の上流側は土砂・流木がダムアップしている。

流出土砂により河道が閉塞。流水は旧道沿いを流れている。

えん堤工により大量の土石流を捕捉。

剣川を越えて土砂が氾濫。土砂は一連の集落のほぼ全域に氾濫している。

えん堤工により大量の土石流を捕捉。

土砂が二方向に分かれて氾濫。国道も越えた模様。

えん堤工により土石流を捕捉。

人家背後の沢から土石流流出。氾濫土砂は人家を越え、国道まで達している。

土石流が道路を越えて氾濫。

えん堤工により土砂を捕捉。

道路・宅地・農地に最大数十cm程度の堆砂。車は通行できる程度の模様。

このエリア最大級の崩壊。幅20~30m、長さ100m程度。

堆砂敷左岸側が大きく崩壊。一時ダムアップした可能性がある。

えん堤工により一定量の土砂が捕捉されているが、越流して下流へ流出している。

道路・宅地・農地に最大数十cm程度の堆砂。国道沿いに流下してきたと考えられる。

縮尺1:25,000

平成21年7月21日発生 山口県豪雨災害  
垂直写真判読図(速報版)  
国際航業株式会社